

講師紹介

松田早苗氏

㈱日本動物福祉協会阪神支部元副支部長

1994年（阪神大震災の前年）、兵庫県知事から「このとり賞」授与。動物福祉分野では初の受賞

1995年、阪神大震災。1月、兵庫県南部地震動物救援本部が発足。兵庫県、神戸市、㈱兵庫県獣医師会、㈱神戸市獣医師会と共に、㈱日本動物福祉協会阪神支部が構成団体に加わり、震災時における官民協同体制を示した

1982年、「動物福祉、実は安楽死団体」等の無知な報道が一部マスコミで流された事があります。当時、誰もが顔とそむけて触れた方からない「安楽死処分」の問題に正面から取り組んできたのが、㈱日本動物福祉協会です。松田さんは矢面に立ちながら啓蒙活動と続け、今では多くの方がこの問題に取り組むようになりました。ありがとうございます、松田さん！

山口千津子氏

大阪府立大学農学部獣医学科卒業

1979~'81年、英国・カナダで動物福祉の研究を受け、英国王立動物虐待防止協会査察官資格取得。

1981年より、㈱日本動物福祉協会獣医師調査員。現在、東京都動物愛護管理審議会委員。私達の会、鳥取共生動物市民連絡協議会は条件が整えば、㈱日本動物福祉協会の鳥取支部を設立したいと考えています。

㈱日本動物福祉協会のパンフレット、活動方針を会場に準備しましたので、関心のある方はお持ち帰り下さい。賛同される方は個人で協会に会員登録して戴き、一定数が揃えば鳥取支部設立の準備に入りたいと思います。鳥取の民間レベルの後進性は、歴史のある愛護団体が存在しなかった事も原因しているのではないのでしょうか。

山本基義氏

山口大学獣医学科卒業

ネッスル日本㈱、酪農部門勤務を経て、北九州市役所勤務

北九州市動物管理センター所長を最後に退職

現在、犬のしつけ方を中心に活動するボランティアグループ、KHAN（北九州ヒューマン アニマル ネットワーク）を主宰

山本先生が動管センターの所長在職中に起きた「ネット犯罪」がきっかけとなり、今回講師として来て戴く事になりました。一年程前、市民の要請に対応した野犬の群れの捕獲業務が妨害され、センターに嫌がらせ電話やメールが殺到したのです。発信元は西宮です

匿名でね、職員を罵倒する。いい加減な情報をネットで流す人がいて、呼応して直ぐ動く人達がいる。で、こういう人達は、野犬に幼児や老人が噛み殺されたら責任を感じるのでしょうか？

吉田正彦氏

麻布獣医科大学卒業

鳥取県庁勤務

平成12年4月～15年3月まで県庁生活環境部県民生活課食品衛生係として、動物愛護部門を兼務。在任中、県条例作成、また、船岡から津無に移転した悪質な犬のブリーダ事件を契機に、動物取扱業者に関する県条例改正に尽力。

現在、倉吉保健所勤務

吉田先生が県庁在任中、私達はしばしばお話しさせて戴きましたが、今、思えば随分無知でした。やりとりの中で私達は育っていったように思います。

殺処分業務を担当する若い女性の獣医さんの、小犬や仔猫を産ませては保健所に持ち込む常習犯がいる、どうにかならないかと訴える哀しい声と表情と一緒に、吉田先生の「犬や猫に背中を押されてる。」という言葉が忘れられません。